

青山小学校 避難所運営訓練

- ◆日 時 平成20年7月12日（土曜） 15:00～17:00
- ◆場 所 青山小学校
- ◆参加者 青山二丁目町会、青山外苑町会、南北青山二丁目町会の方々等
計39名
（協力：青山小学校、港区防災課、赤坂地区総合支所、赤坂消防署）
- ◆訓練内容 避難所運営マニュアルに基づいた訓練（以下参照）

●協議会本部設置担当

- 1階会議室に協議会本部を設置します。
- 避難場所やそこまでの経路の安全確認を行い、そこに避難者への案内の貼り紙を貼ります。



【避難所本部を立ち上げます】



【立入禁止などの経路の制限を行います】

●情報集約・活動調整担当

- 青山小ブロックの防災マップを用意します。
- 町会の方々や避難者からの地域の被害状況報告をもとに、防災マップに被害状況を集約します。



【防災マップに被害状況を書き込みます】



【情報集約の結果を報告します】

●避難者誘導・居住班編制担当

- 一般者用避難場所（3階体育館）を町会ごとに区分けをします。
- 団体ごとに区分けすることで、物資の配給等を効率良く行うことができます。



【町会ごとに避難するため、区分けをします】



【通路も確保します】

●負傷者・要援護者担当

- 1階集会室に救護所、要援護者用避難場所を設置します。
- 負傷者を1階集会室に搬送し、応急手当を行います。



【簡易担架は毛布と物干し竿で作れます】



【三角巾を使った包帯法を学んでいます】

●照明・仮設トイレ設置担当

- 地下1階備蓄倉庫から、仮設トイレ、発電機や投光機を運び出し、設置します。



【仮設トイレを組み立てます】



【災害時におけるトイレは非常に重要です】

第2回

青山小学校 避難所運営訓練

- ◆日 時 平成22年11月27日（土曜）
□第1部（避難所立ち上げ訓練） 10:00～11:30
□第2部（避難者受け入れ訓練） 11:30～13:00
- ◆場 所 青山小学校
- ◆参加者 142名
□青山地区防災協議会員 34名
□青山小PTA 11名
□避難者役 77名
□学校、消防署、港区（防災課、赤坂地区総合支所） 20名
- ◆訓練内容 第1部（避難所立ち上げ訓練）
（以下参照） 協議会本部設置、情報集約・活動調整、避難者誘導・居住班編制、照明・仮設トイレ設置
第2部（避難者受け入れ訓練）
避難者受付、情報集約・活動調整、避難者誘導・居住班編制、防災訓練（防災備蓄倉庫見学、消火器訓練、応急救護訓練、炊き出し訓練等）

＜第1部 避難所立ち上げ訓練の様子＞

●協議会本部設置担当

- 1階会議室に協議会本部を設置します。
- 避難場所やそこまでの経路の安全確認を行い、そこに避難者への案内の貼り紙を貼ります。



【学校の鍵を用いて、敷地内に入ります】



【立入禁止などの経路の制限を行います】

●情報集約・活動調整担当

○青山小ブロックの防災マップを用意します。

○町会の方々や避難者からの地域の被害状況報告をもとに、防災マップに被害状況を集約します。



【防災マップに被害状況を書き込みます】



【集約した被害状況を報告します】

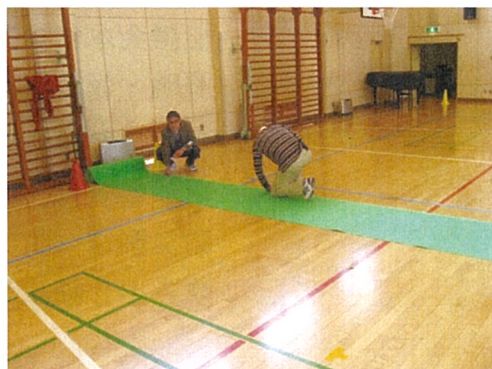
●避難者誘導・居住班編制担当

○一般者用避難場所（3階体育館）を町会ごとに区分けをします。

○団体ごとに区分けすることで、物資の配給等を効率良く行うことができます。



【町会ごとに避難するため、区分けをします】



【通路も確保します】

●照明・仮設トイレ設置担当

○地下1階備蓄倉庫から、仮設トイレ、発電機や投光機を運び出し、設置します。



【仮設トイレを組み立てます】



【投光機と仮設トイレを設置します】

＜第2部 避難者受け入れ訓練の様子＞

●避難者受付

- 協議会本部（1階会議室）前に避難者用受付を設置します。
- 避難者が一斉に避難場所に行かないように、受付で入場規制を行います。
- 受付で避難者に毛布・カーペットを渡します。



【災害時には、多くの避難者が来ます】



【人数を調整しながら、避難者を受け入れます】

●避難者誘導・居住班編制

- 避難者を一般者用避難場所（3階体育館）に誘導し、町会ごとにまとまるように指示をします。
 - 同じ町会の避難者が10名程度集まったら、居住班（※）を作ってもらいます。
その班ごとに応急用名簿を配付し、必要事項を記入してもらいます。
- ※居住班・・・避難所内で生活・行動する班



【毛布・カーペットを使用します】



【町会ごとにまとまるように指示をします】

●防災訓練

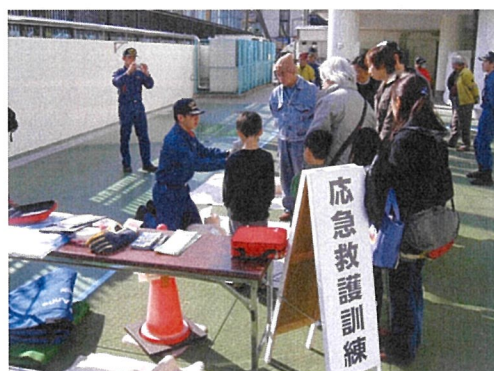
○防災備蓄倉庫見学 ○消火器訓練 ○応急救護訓練 ○炊き出し訓練
○起震車体験 ○防災わなげ ○防災パネル展示



【備蓄倉庫は地下1階給食室の裏にあります】



【日頃から消火器がある場所を確認しましょう】



【心肺蘇生法やAEDの操作方法を学びました】



【青山小で採れた野菜を使った
すいとんが配られました】



【青山小 PTA の皆さん（炊き出し訓練）】



【地震がきたら、身の安全の確保を】



【子どもたちも楽しんでいました】



【たくさんの方々が参加しました】

第3回

青山小学校 避難所運営訓練

- ◆日 時 平成24年6月23日（土曜）
□第1部（避難所立ち上げ訓練） 10:00～11:30
□第2部（避難者受け入れ訓練） 11:30～13:00
- ◆場 所 青山小学校
- ◆参加者 158名
□青山地区防災協議会員 30名
□青山小PTA 13名
□避難者役 73名
□青山小学校教職員 18名
□消防署、港区（防災課、赤坂地区総合支所） 24名
- ◆訓練内容 第1部（避難所立ち上げ訓練）
青山地区防災協議会、青山小PTA、青山小教職員を中心に、5つの担当に分かれて避難所の立ち上げに係る作業を行いました。
第2部（避難者受け入れ訓練）
立ち上げ準備が整った避難所に避難者を受け入れました。
※訓練内容の詳細は以下を参照してください。

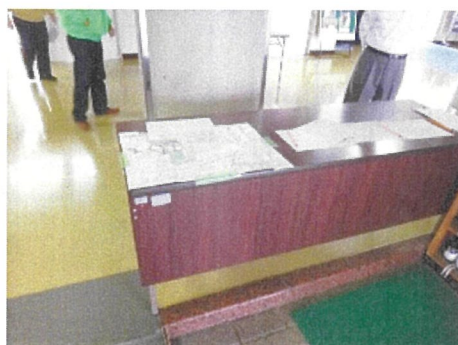
＜第1部 避難所立ち上げ訓練の様子＞

●協議会本部設置担当

- 貼り紙やロープを用いて経路の制限をし、校舎内に統制をかけます。
- 1階玄関ホールに避難者窓口を設置します。



【立入禁止など経路の制限を行います】



【玄関ホールの避難者受付窓口】

●情報集約・活動調整担当

○青山小ブロック内の防災マップに地域の被害状況を集約します。

○集約した情報のうち、外部（避難者等）に周知すべき情報を貼り出します。



【防災マップに被害状況を書き込みます】



【インフラ状況や交通機関の情報等を玄関口に貼り出しました】

●避難者誘導・居住班編制担当

○一般者用避難場所（3階体育館）を町会ごとに区分けをします。

○カーペットを敷くことで通路の確保ができます。



【ロールカーペットとカラーコーンで団体（町会）ごとに区分けをします。】



【滑らないように養生テープで固定します】

●照明・仮設トイレ設置担当

○仮設トイレの設置、投光器と発電機を用いた照明の確保を行います。



【校庭の通用口横に仮設トイレを設置します】



【投光器（左手前）でトイレ周辺の明かりを確保します】

＜第2部 避難者受け入れ訓練の様子＞

●避難者受付

- 避難者の受付は避難所の立ち上げが完了するまで行いません。
- 一斉入場による混乱を防ぐため、受付で調整し体育館に誘導します。
- 受付で避難者に毛布・カーペットを渡します（訓練では省略）。



【災害時には、多くの避難者が来ます】



【人数を調整しながら、避難者を受け入れます】

●避難者誘導・居住班編制

- 避難者を一般者用避難場所（3階体育館）に誘導し、町会ごとにまとまるように指示をします。
 - 同じ町会の避難者が10名程度集まったら、居住班（※）を作ってもらいます。その班ごとに応急用名簿を配付し、必要事項を記入してもらいます。
- ※居住班・・・避難所内で生活・行動する班



【区分けに従って集まります】



【居住班ごとに避難者名簿を作成します】



【避難所においてプライバシーを確保するための「間仕切り」と更衣や授乳、オムツ替えなど、さまざまな用途に使える「多目的ハウス」を展示しました】



●炊き出し訓練

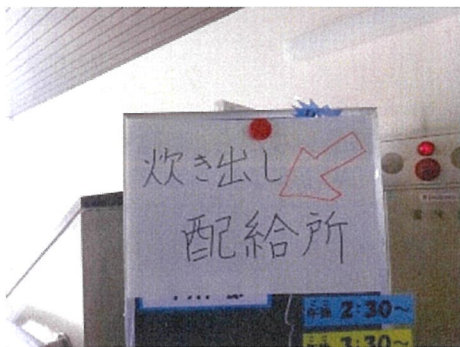
○青山小 PTA の皆さんにご協力いただき、豚汁、アルファ米の炊き出しを行いました。



【豚汁材料の下ごしらえ】



【災害用バーナーの使い方は十分な訓練が必要です】



【配給場所への誘導案内】



【配給の様子】

●防災訓練

○避難者受入れ訓練と並行して、参加者が自由に体験できる各種訓練を実施しました。

「初期消火訓練」「応急救護訓練」「起震車体験」「災害用仮設トイレ見学」等



【初期消火訓練】



【応急救護訓練（AED、包帯法）】



【起震車体験】



【震災ビデオの上映】

第4回

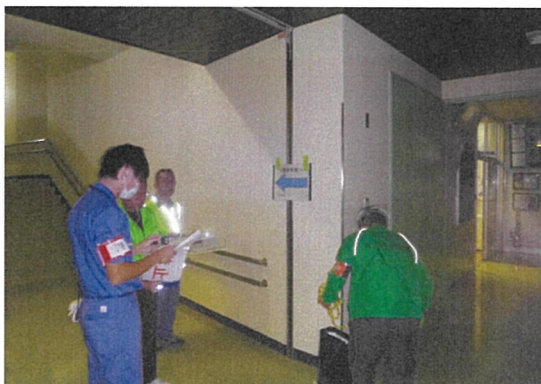
青山小学校 夜間避難所運営訓練

- ◆日 時 平成25年10月11日（金曜）
午後6時30分から午後8時30分まで
- ◆場 所 青山小学校
- ◆参加者 47名
□青山小学校ブロック 22名
□青山地区防災協議会会員 11名
□青山小学校・青山中学校 3名
□赤坂消防署・港区（赤坂地区総合支所） 11名
- ◆訓練内容 【夜間を想定した避難所立ち上げ訓練】
校舎内の電気を消灯し、LED ライトを頼りに、参加者全員が各担当の活動内容を確認したうえで、それぞれの担当の活動を行いました。
訓練の最後は、体育館に集合し、投光器で照らされた体育館に避難所間仕切りやカーペット、多目的ハウスを設置しました。

〈夜間避難所立ち上げ訓練の様子〉

●協議会本部設置担当

- 貼り紙やロープを用いて経路の制限をし、校舎内に統制をかけました。
- 1階玄関ホールに避難者窓口を設置しました。



【立入禁止など経路の制限を行いました】



【玄関ホールの避難者受付窓口】

●情報集約・活動調整担当

○NHK ラジオを聞き、流れてくるニュースを書き取りました。

○書き取った情報を整理し、ホワイトボードに転写しました。

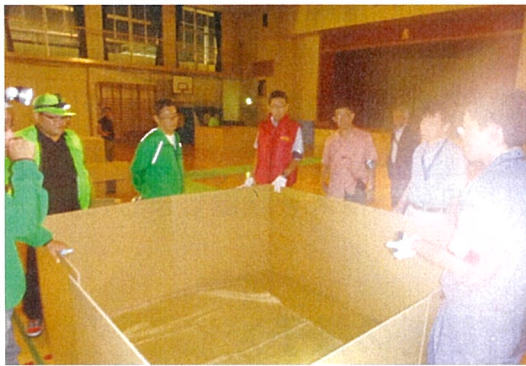


【手回し式ラジオから流れる NHK ニュースをシートに書き取りしました】

●避難者誘導・居住班編制担当

○一般者用避難場所（3階体育館）を町会ごとにカーペットで分けをしました。

○ダンボールパテーション、多目的ハウスを設置しました。



【ロールカーペットで分けし、ダンボールパテーションの設置を行いました】



【多目的ハウスを設置しました】

●照明・発電機設置担当

○投光器と発電機を用いた照明の確保を行いました。



【体育館ギャラリー一部に発電機と投光器を設置しました】



【投光器（2台）で体育館全体の明かりが確保できました】

訓練後の反省会で出された意見

【協議会本部担当】

ロープをガムテープで張るのは手間がかかるので、「立入禁止」と書かれたビニールテープをロープの代わりに張ったらよいのではないか。

貼紙を貼る部屋名が変更になっている。随時更新したほうがよい。

【情報集約・活動調整担当】

今回は NHK ラジオの情報を聞き取り、掲示板に集約する作業を行った。避難所に集まってくる人に正確な情報を伝えなければならないと感じた。また、地域周辺の被害状況などを把握するために、2、3名のチームを編成し、地域を巡回することが必要であるとする。

近所の方々の安否確認をすることで、安心してもらうことが必要である。

【居住班編成担当】

初めての夜間訓練で、最初は戸惑ったが、徐々に慣れてきた。ダンボール間仕切りは、女性だけでも組み立てられることができた。

今回の訓練で使用したランタンは、手で照らす仕様のもので、作業がしにくかった。頭につける仕様のランタンを購入してほしい。

【照明・発電機担当】

体育館が真っ暗の中、色々な作業をするにあたり、照明を1番先につけた。

投光器2台を点灯することで、明るいと感じた。

発電機を稼働させるのは簡単だったが、マニュアルが暗がりではわかりにくかったので、本体にくくりつけてあるとよい。

第5回

青山小学校ブロック夜間避難所運営訓練

◆日 時 平成 27 年 11 月 30 日（月曜）
午後 7 時から午後 9 時まで

◆場 所 青山小学校

◆参加者 38 名

□青山小学校ブロック	22 名
□青山地区防災協議会会員	3 名
□港区社会福祉協議会	2 名
□都立青山特別支援学校	1 名
□青山小学校	1 名
□赤坂消防署・赤坂警察署	4 名
□港区（赤坂地区総合支所）	5 名

◆訓練内容 【夜間を想定した避難所立ち上げ訓練】

今回の訓練では、協議会本部の設置、情報集約活動、発電機と投光器を用いた明かりの確保、そして居住スペースの設置の各活動を参加者全員で回り、体験するツアー形式で行いました。校舎内は電気を消して暗い状態にしていたため、手元や周りをランタンやヘッドライトで照らしながらの作業となりました。

＜夜間避難所立ち上げ訓練の様子＞

●本部班

○貼紙やロープを用いて経路の制限をし、校舎内に統制をかけました。

○1階玄関ホールに避難者受付窓口を設置しました。



【立入禁止など経路の制限】



【貼紙の貼付】



【玄関に受付窓口を設置】

●情報集約班

○全員で救急救命セットの中身をひとつずつ確認しました。

○写真にて、ホワイトボードシートに情報を書写す作業を行うイメージの情報共有を行いました。



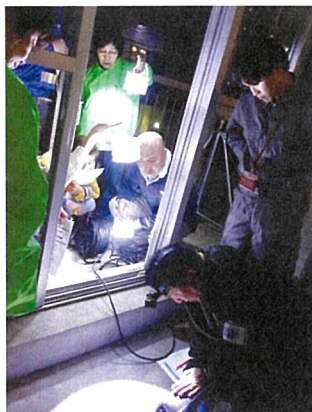
【救急救命セット中身の確認】



【情報集約作業のイメージを共有】

●照明班

○投光器と発電機を用いた照明の確保を行いました。



【発電機の作動手順を確認】



【体育館ギャラリー部に発電機と投光器を設置】

●居住編制班

○写真にて、ロールカーペットを用いて、町会・自治会ごとに避難スペースの区分けをするイメージの情報共有を行いました。

○ダンボールパーティション、多目的ハウスを設置しました。



【ダンボールパーティションを設置】



【多目的ハウスを設置】